

冬の風物詩シラウオ漁

正月3ヶ日が開けると赤須賀ではシラウオ漁が始まります。

シラウオは、日の出とともに出漁し、寒い中を2隻一組で大きな網をゆっくりゆっくりと曳く漁法と、刺し網を用いて獲る二つの漁法で行われています。

シラウオは、ハマグリと並び桑名を代表する水産物で、江戸時代には「めざし」にして徳川幕府に献上されていたほどの名産品です。

現在でも紅梅煮は桑名の名産となっています。

明けほのや しら魚白き 事一寸

この句は、桑名の地を訪れた芭蕉が、明け方に漁師が引きあげた一寸ほどのシラウオのみずみずしさと透明感のある姿を見て詠んだ有名な句です。



とれたてのシラウオ